

現代学生「就活」成否に関する実証的研究

— 女は「情け」と「スマートさ」、男は「筋肉」と「SPI」で、決まる?! —

桜井 芳生

Empirical Research on the Successes or Failures in Job Hunting among University Students Today

Yoshio SAKURAI

Research was conducted into what kinds of students are successful in job hunting. A questionnaire was answered by students at a university in southern Kyūshū, Japan during November and December 2005.

Some of our findings are:

1. For male students, the level of dependency on their peers, the level of inferiority about their appearance, motivation, whether they had completed SPI study aids, and their physical strength all affected their success in job hunting to a sufficient significance level. Whether their parents' weddings were arranged also negatively affected it to a lesser extent.
2. For female students, their height, weight and empathy affected their success to a sufficient significance level. Whether they had been in a personal relationship, motivation, withdrawnness, and the level of dependency on their peers also affected success to a lesser extent.
3. These variables have never been empirically verified. However, we were able to obtain a comparatively strong explanation power ($R\text{-square} = .644$) by making these variables the independent variables.

Keywords: Job Hunting, SPI, Reference group, Multiple Regression.

1. 緒言

現在の日本の大学生生活を分析するにあたっては、就活（就職活動）の問題は無視できないだろう。多くの大学で、キャリア教育の名の下に、就職を念頭においた教育が模索されているようである。キャリア教育はもちろん、ただたんに、就職で「志望どおりの就職」ができることだけを目的にしたものではないだろう。しかし、キャリア教育あるいは、学生の進路選択の支援をするうえで、就職ならびにそれが「どれほど志望どおりに進行したのか」は大きな事実である。

世間では、多くのいわゆる「就活本」が出版されている。こうすれば、君も内定がとれるという趣旨である。しかし、実際のところ、どのような学生が就職活動で成功したのかを実証的

に調査した研究はすくない。

就職活動の成功者の合格体験記は存在する。しかし、いうまでもなく、社会科学的には、失敗した者との対比が必要である。しかし、敗者の弁はほとんど見いだすことはできない。では、はたして、どのような学生が就職活動に成功し、どのような学生が就職活動に成功しなかったのか。われわれは、このような問題意識で、合同でおこなった調査になかにキーとなる設問を含めた。

現代の学生の就職活動についての研究・文献は少なくない。しかし、就職活動の成否を学生側の属性から実証的にさぐった研究はほとんどみあたらない。その数少ない例外として、永野2004があげられる。この研究は、昼間部の大学四年生を対象にした自己記入式調査である。2000年12月～2001年2月にかけて調査票を配布回収し、25大学33学部、1,143人からの回答を得た大規模なサンプルの調査である（無作為抽出ではない）。

この永野2004の調査は、筆者の問題意識にとって、画期的な調査である。しかし、その中身については、不満を多く感ぜざるを得ない。

第一に、現在に就職活動においては、SPIをはじめとする筆記試験対策が大きな比重を占めている。しかし、永野の調査には、SPIをはじめとする筆記試験対策についての設問が存在しない。

第二。清水佑三の『逆面接』によると、「名の通った大学ラグビー部の正選手は優秀だと見る重役は意外に多いものだ」（清水2003：21）だそうである。この言明はいろいろな含意を含んでいる。受検学生の「体格」が、就職活動ではチェックポイントになることを示唆しているだろう。筆者が10年来就活支援の自主ゼミを行ってきた体験からしても、とくに男子学生においては、「体格」は就職活動の成否に無視できない影響を与えていると直観される。しかし、永野の調査においては、受検学生の体格については、計測されていない。

第三に、松下佐知子の『女子大生、就職の常識はウソばかり、面接官の本音を知る本』によると、とくに女子大生の就職においては、「容姿」は無視できない影響をもっているという。これも（年度によるが）筆者の直観からも否定できない。永野調査には、この視点もない。

第四に、おそらく、上記三点の視点の欠落の結果とおもえるが、永野調査では、受検大学生の就職活動の成否をデータから説明しきれていないのである。われわれも、後段において、重回帰分析をおこなうが、永野の調査並びにその分析において、就職活動の成否に対する学生の自己評価を、諸独立変数で説明する説明力は、「自由度調整済みR²乗(決定係数)」で「.338」ないし「.343」にすぎない（永野2004：111）。

以上、永野調査への不満もふまえ、「SPI対策」「体格」「容姿」に関する変数も含め、説明力のあるモデルを求めて、調査をおこなった。

本稿はその結果報告であり、その結果をめぐる議論である。

2. 方法と対象

2005年11月から12月にかけて、南九州の、ある国立大学法人の学生たちによって、周囲の学

生を中心とする知人たちを対象にして、二段階スノーボール式非無作為抽出によるアンケート調査をおこなった。依頼数186ペア、回収数155ペア。回収率83.3%であった。統計分析ソフトは、SPSS 13.0Jを使用した。

3. 結果

就職活動の成否を従属変数として、計測するため、以下の質問を行った。

「四年生以上・短大大学院二年生にのみうかがいます。あなたの就職活動は「成功」したとおもいますか。cp

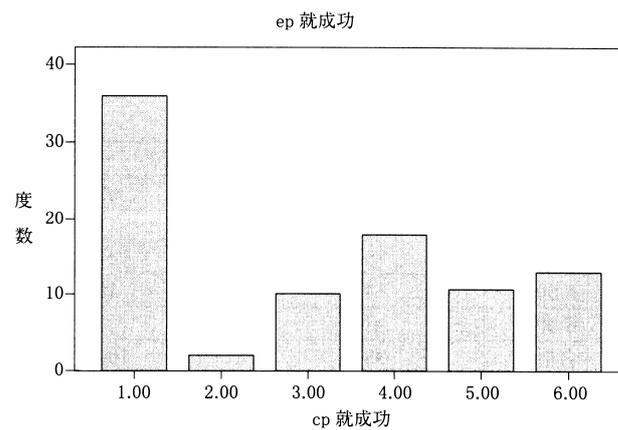
↓

6. かなり、そう（成功）。 5. まあ、そう。 4. どちらかという、そう。
3. どちらかいうと、そうでない。 2. まあ、そうでない。 1. そうでない。」

この質問に対する単純集計は以下の通りである。（変数名の前のアルファベットは設問番号である）。（表1・グラフ1）

表1 cp 就成功

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	36	11.6	40.0	40.0
	2.00	2	.6	2.2	42.2
	3.00	10	3.2	11.1	53.3
	4.00	18	5.8	20.0	73.3
	5.00	11	3.5	12.2	85.6
	6.00	13	4.2	14.4	100.0
	合計	90	29.0	100.0	
欠損値	システム欠損値	220	71.0		
合計		310	100.0		



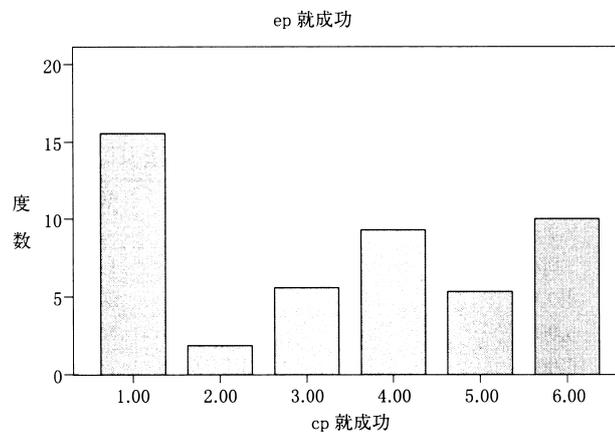
グラフ1

以下、おもに男女別に分析するので、男女別の度数分布も確認した。(表2・グラフ2・表3・グラフ3)

以下、女性

表2 cp 就成功

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	16	12.2	32.0	32.0
	2.00	2	1.5	4.0	36.0
	3.00	6	4.6	12.0	48.0
	4.00	9	6.9	18.0	66.0
	5.00	7	5.3	14.0	80.0
	6.00	10	7.6	20.0	100.0
	合計	50	38.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	81	61.8		
合計		131	100.0		

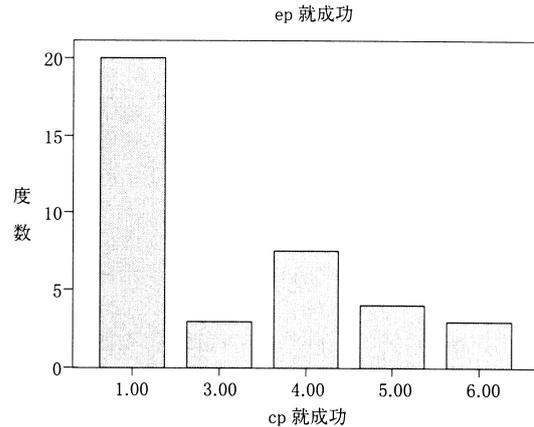


グラフ2

以下、男性

表3 cp 就成功

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1.00	20	16.7	52.6	52.6
	3.00	3	2.5	7.9	60.5
	4.00	8	6.7	21.1	81.6
	5.00	4	3.3	10.5	92.1
	6.00	3	2.5	7.9	100.0
	合計	38	31.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	82	68.3		
合計		120	100.0		



グラフ 3

* * *

以上のサンプルにたいして、男女別に重回帰分析をおこなった。

調査は、授業における学生との実習によるものであったので、設問はオムニバス（あいのりバス）方式でさまざまなものがあった。その中から、就職活動の成功に対して同義反復に近いものを除き、上述の就活本などで言及される要因、筆者が数年来おこなってきた就活ゼミの体験から就活成否に影響を与えていそうな変数をピックアップし独立変数とし、「変数減少法」で線形重回帰分析をおこなった。それぞれの変数についての設問の文言については、以下の「議論」ならびに本文末を参照のこと。（註1）

学生自身による「就活の成功」という自己評価についての変数を、他のどのような諸変数の合成（一次式）によって説明できるかを統計的に確かめてみたわけである。とくに以下の表の「ベータ」（標準偏回帰係数）に着目して欲しい。この値の大きさが、直観的にいって、その変数が「就職活動の成功」という従属変数（結果）にどれほどの強さの影響をもっているか、ということをおぼわしていると解釈できる。また、どの独立変数の組（モデル）が説明力が高いかは、調整済みR²乗値の大きさを目安にすることができる。

（今回の調査はあくまで、学生の側からのみの就活成功の要因分析である。当然、採用側の企業の側のデータも収集し分析したくなる。しかし、就活の成功とはあくまで、学生側の評価による概念（変数）である。「企業からどのように評価され、採用された（/されなかった）学生」が、「自分の就活の結果をどれほど成功と評価しているのか」を分析するには、「学生Aの自己評価」と「その学生Aを選考した企業の、その学生Aについての評価のデータ」が必要となる。すなわち、「個別の受検者Aによってリンクされたダイアド（一ペアの）データ」が必要となる。したがって、この方途はちょっと考えるのよりは格段に困難なアプローチである。今後の課題としたい）。

【男性】

回帰

表4 モデル集計

モデル	R	R2乗	調整済み R2乗	推定値の 標準誤差
1	.820	.672	.418	1.44631
2	.819	.672	.447	1.40987
3	.818	.669	.471	1.37913
4	.816	.666	.490	1.35304
5	.815	.664	.512	1.32428
6	.814	.663	.532	1.29712
7	.813	.661	.548	1.27375
8	.807	.651	.554	1.26643
9	.802	.644	.561	1.25545
10	.786	.619	.548	1.27454

表5 係数

モデル		非標準化係数		標準化係数		
		B	標準誤差	ベータ	t	有意確率
1	(定数)	4.040	7.901		.511	.615
	x 挑戦安全	.154	.333	.116	.463	.649
	ac 自信	-.188	.352	-.132	-.534	.600
	af 引っ込み	-.053	.227	-.043	-.234	.818
	aq 筋肉	.290	.224	.254	1.298	.211
	at 意欲人生	.419	.308	.293	1.362	.190
	bb4見合3恋愛	-1.085	.734	-.267	-1.479	.156
	bx コンブ数	-.672	.386	-.349	-1.739	.099
	ccSPI 冊マスタ	.859	.676	.225	1.271	.220
	co 同世代目	-.617	.231	-.454	-2.670	.016
	bk 恋性経験	-.455	1.134	-.080	-.401	.693
	k 美人	.144	.316	.105	.457	.653
	ca 情ためな	.075	.251	.063	.298	.769
	cw 身長	.027	.032	.137	.838	.413
	cx 体重	-.036	.039	-.155	-.917	.371
2	(定数)	3.833	7.654		.501	.622
	x 挑戦安全	.173	.315	.131	.550	.589
	ac 自信	-.181	.342	-.127	-.529	.603
	aq 筋肉	.293	.218	.256	1.344	.195
	at 意欲人生	.406	.295	.284	1.376	.185
	bb4見合3恋愛	-1.098	.713	-.270	-1.539	.140
	bx コンブ数	-.685	.372	-.356	-1.841	.081
	ccSPI 冊マスタ	.813	.631	.213	1.289	.213
	co 同世代目	-.621	.225	-.456	-2.763	.012
	bk 恋性経験	-.402	1.083	-.070	-.371	.715
	k 美人	.152	.307	.111	.495	.626
	ca 情ためな	.089	.237	.075	.375	.712
	cw 身長	.027	.031	.136	.854	.404

	cx 体重	-.037	.038	-.158	-.961	.349	
3	(定数)	1.977	5.662		.349	.731	
	x 挑戦安全	.147	.300	.111	.490	.629	
	ac 自信	-.184	.334	-.129	-.550	.588	
	aq 筋肉	.284	.212	.249	1.341	.195	
	at 意欲人生	.374	.276	.261	1.356	.190	
	bb4見合3恋愛	-1.044	.683	-.257	-1.528	.142	
	bx コンブ数	-.712	.358	-.369	-1.989	.061	
	ccSPI 冊マスタ	.787	.613	.206	1.284	.214	
	co 同世代目	-.604	.215	-.444	-2.807	.011	
	k 美人	.137	.298	.100	.461	.650	
	ca 情ためな	.111	.225	.094	.494	.627	
	cw 身長	.029	.030	.147	.965	.346	
	cx 体重	-.036	.037	-.155	-.964	.347	
	4	(定数)	1.517	5.469		.277	.784
x 挑戦安全		.065	.237	.049	.273	.787	
ac 自信		-.085	.252	-.060	-.338	.738	
aq 筋肉		.323	.190	.283	1.698	.104	
at 意欲人生		.413	.257	.289	1.603	.124	
bb4見合3恋愛		-.988	.660	-.243	-1.498	.149	
bx コンブ数		-.692	.348	-.359	-1.986	.060	
ccSPI 冊マスタ		.871	.574	.228	1.516	.145	
co 同世代目		-.591	.209	-.434	-2.824	.010	
ca 情ためな		.064	.197	.054	.326	.747	
cw 身長		.029	.029	.145	.968	.344	
cx 体重		-.032	.036	-.139	-.901	.378	
5		(定数)	1.641	5.334		.308	.761
		ac 自信	-.059	.227	-.041	-.257	.799
	aq 筋肉	.345	.169	.302	2.033	.054	
	at 意欲人生	.419	.251	.293	1.670	.109	
	bb4見合3恋愛	-1.016	.637	-.250	-1.595	.125	
	bx コンブ数	-.689	.341	-.358	-2.022	.055	
	ccSPI 冊マスタ	.856	.560	.224	1.529	.140	
	co 同世代目	-.597	.204	-.439	-2.932	.008	
	ca 情ためな	.063	.193	.053	.325	.748	
	cw 身長	.029	.029	.145	.989	.333	
cx 体重	-.031	.035	-.133	-.890	.383		
6	(定数)	1.495	5.195		.288	.776	
	aq 筋肉	.337	.163	.295	2.062	.051	
	at 意欲人生	.396	.230	.277	1.724	.098	
	bb4見合3恋愛	-1.024	.624	-.252	-1.643	.114	
	bx コンブ数	-.647	.292	-.336	-2.218	.037	
	ccSPI 冊マスタ	.856	.548	.224	1.561	.132	
	co 同世代目	-.588	.196	-.432	-2.996	.006	
	ca 情ためな	.070	.186	.059	.378	.709	
	cw 身長	.027	.028	.139	.981	.337	
	cx 体重	-.029	.033	-.124	-.872	.392	
7	(定数)	1.751	5.058		.346	.732	

	aq 筋肉	.330	.160	.289	2.070	.049
	at 意欲人生	.436	.200	.305	2.175	.040
	bb4見合3恋愛	-.987	.605	-.243	-1.633	.116
	bx コンブ数	-.691	.262	-.359	-2.644	.014
	ccSPI 冊マスタ	.946	.485	.248	1.952	.063
	co 同世代目	-.597	.191	-.439	-3.124	.005
	cw 身長	.025	.026	.125	.929	.362
	cx 体重	-.027	.032	-.117	-.845	.407
8	(定数)	.453	4.791		.095	.925
	aq 筋肉	.307	.156	.269	1.964	.061
	at 意欲人生	.437	.199	.306	2.195	.038
	bb4見合3恋愛	-.850	.579	-.209	-1.468	.155
	bx コンブ数	-.709	.259	-.368	-2.738	.011
	ccSPI 冊マスタ	.965	.482	.253	2.003	.056
	co 同世代目	-.560	.185	-.412	-3.028	.006
	cw 身長	.019	.025	.096	.743	.465
9	(定数)	3.485	2.486		1.402	.173
	aq 筋肉	.313	.155	.275	2.027	.053
	at 意欲人生	.430	.197	.301	2.181	.038
	bb4見合3恋愛	-.758	.561	-.187	-1.352	.188
	bx コンブ数	-.744	.253	-.386	-2.945	.007
	ccSPI 冊マスタ	1.023	.471	.268	2.172	.039
	co 同世代目	-.609	.172	-.447	-3.545	.002
10	(定数)	.999	1.698		.588	.561
	aq 筋肉	.258	.151	.226	1.706	.099
	at 意欲人生	.499	.194	.349	2.578	.016
	bx コンブ数	-.877	.236	-.455	-3.709	.001
	ccSPI 冊マスタ	1.198	.460	.314	2.604	.015
	co 同世代目	-.685	.165	-.503	-4.161	.000

a 従属変数: cp 就成功

【女性】

回帰

表6 モデル集計

モデル	R	R2乗	調整済み R2乗	推定値の 標準誤差
1	.794	.631	.358	1.53703
2	.794	.631	.391	1.49814
3	.793	.629	.418	1.46438
4	.792	.628	.442	1.43404
5	.788	.621	.457	1.41453
6	.784	.614	.469	1.39798
7	.777	.604	.478	1.38702
8	.768	.590	.480	1.38412
9	.753	.567	.471	1.39576
10	.728	.530	.446	1.42830
11	.705	.497	.428	1.45127
12	.693	.481	.429	1.45022

表7 係数

モデル		非標準化係数		標準化係数		有意確率
		B	標準誤差	ベータ	t	
1	(定数)	-44.789	13.410		-3.340	.003
	x 挑戦安全	.075	.280	.054	.268	.792
	ac 自信	-.186	.270	-.135	-.687	.500
	af 引っ込み	.254	.288	.219	.882	.389
	aq 筋肉	.007	.236	.005	.028	.978
	at 意欲人生	.390	.347	.230	1.122	.276
	bb4見合3恋愛	.402	.679	.101	.591	.561
	bx コンブ数	-.125	.266	-.081	-.469	.645
	ccSPI 冊マスタ	.201	.814	.047	.247	.807
	co 同世代目	.238	.292	.134	.814	.426
	bk 恋性経験	1.204	.954	.298	1.262	.222
	k 美人	.270	.276	.174	.978	.340
	ca 情ためな	.765	.342	.478	2.238	.037
	cw 身長	.280	.082	.646	3.416	.003
	cx 体重	-.198	.106	-.425	-1.872	.077
2	(定数)	-44.844	12.923		-3.470	.002
	x 挑戦安全	.076	.271	.055	.280	.782
	ac 自信	-.184	.259	-.134	-.710	.486
	af 引っ込み	.257	.267	.221	.961	.348
	at 意欲人生	.392	.332	.232	1.181	.251
	bb4見合3恋愛	.400	.660	.101	.606	.551
	bx コンブ数	-.126	.256	-.081	-.491	.628
	ccSPI 冊マスタ	.197	.778	.046	.253	.803
	co 同世代目	.236	.281	.133	.842	.410
	bk 恋性経験	1.211	.898	.300	1.349	.192
	k 美人	.271	.267	.175	1.014	.323
	ca 情ためな	.767	.327	.479	2.348	.029
	cw 身長	.281	.080	.646	3.516	.002
	cx 体重	-.197	.102	-.424	-1.926	.068
	3	(定数)	-44.235	12.411		-3.564
x 挑戦安全		.083	.264	.060	.313	.757
ac 自信		-.186	.253	-.135	-.734	.471
af 引っ込み		.238	.251	.205	.949	.353
at 意欲人生		.380	.321	.225	1.184	.250
bb4見合3恋愛		.414	.643	.105	.644	.526
bx コンブ数		-.118	.248	-.077	-.476	.639
co 同世代目		.245	.272	.138	.900	.378
bk 恋性経験		1.161	.855	.287	1.357	.189
k 美人		.267	.261	.172	1.025	.317
ca 情ためな		.793	.302	.496	2.623	.016
cw 身長		.285	.076	.656	3.745	.001
cx 体重		-.210	.088	-.451	-2.386	.027
4	(定数)	-44.997	11.917		-3.776	.001
	ac 自信	-.183	.248	-.133	-.739	.468
	af 引っ込み	.220	.239	.190	.920	.367

	at 意欲人生	.409	.301	.242	1.357	.189
	bb4見合3恋愛	.481	.594	.122	.810	.427
	bx コンプ数	-.142	.231	-.092	-.615	.545
	co 同世代目	.269	.256	.151	1.050	.305
	bk 恋性経験	1.232	.807	.305	1.525	.141
	k 美人	.283	.251	.182	1.128	.271
	ca 情ためな	.787	.296	.492	2.664	.014
	cw 身長	.290	.073	.668	3.982	.001
	cx 体重	-.216	.084	-.465	-2.589	.017
5	(定数)	-45.251	11.748		-3.852	.001
	ac 自信	-.161	.242	-.117	-.664	.513
	af引っ込み	.219	.236	.188	.927	.364
	at 意欲人生	.457	.287	.270	1.596	.124
	bb4見合3恋愛	.455	.585	.115	.779	.444
	co 同世代目	.242	.249	.136	.974	.340
	bk 恋性経験	1.127	.779	.279	1.448	.161
	k 美人	.294	.247	.189	1.189	.246
	ca 情ためな	.754	.287	.471	2.630	.015
	cw 身長	.293	.072	.675	4.086	.000
	cx 体重	-.220	.082	-.474	-2.685	.013
6	(定数)	-46.569	11.444		-4.069	.000
	af引っ込み	.301	.198	.259	1.517	.142
	at 意欲人生	.409	.274	.242	1.493	.149
	bb4見合3恋愛	.451	.578	.114	.781	.443
	co 同世代目	.220	.244	.124	.903	.376
	bk 恋性経験	1.318	.715	.326	1.842	.078
	k 美人	.223	.220	.144	1.013	.321
	ca 情ためな	.801	.274	.500	2.920	.007
	cw 身長	.290	.071	.667	4.100	.000
	cx 体重	-.208	.079	-.448	-2.633	.015
7	(定数)	-44.878	11.149		-4.025	.000
	af引っ込み	.285	.196	.245	1.454	.158
	at 意欲人生	.390	.271	.230	1.439	.162
	co 同世代目	.244	.240	.137	1.019	.318
	bk 恋性経験	1.090	.648	.270	1.682	.105
	k 美人	.205	.217	.132	.944	.354
	ca 情ためな	.843	.267	.526	3.156	.004
	cw 身長	.296	.070	.682	4.248	.000
	cx 体重	-.217	.078	-.467	-2.798	.010
8	(定数)	-45.441	11.110		-4.090	.000
	af引っ込み	.269	.195	.232	1.382	.179
	at 意欲人生	.414	.269	.245	1.539	.136
	co 同世代目	.284	.236	.160	1.207	.238
	bk 恋性経験	1.053	.645	.261	1.632	.115
	ca 情ためな	.863	.265	.539	3.251	.003
	cw 身長	.296	.070	.681	4.251	.000
	cx 体重	-.198	.075	-.426	-2.648	.014
9	(定数)	-43.023	11.019		-3.904	.001

	af 引っ込み	.308	.194	.266	1.593	.123
	at 意欲人生	.413	.271	.244	1.523	.139
	bk 恋性経験	1.149	.646	.284	1.778	.087
	ca 情ためな	.904	.266	.565	3.404	.002
	cw 身長	.287	.070	.662	4.118	.000
	cx 体重	-.208	.075	-.448	-2.780	.010
10	(定数)	-39.737	11.058		-3.593	.001
	af 引っ込み	.274	.197	.236	1.393	.175
	bk 恋性経験	1.071	.659	.265	1.625	.115
	ca 情ためな	1.115	.232	.696	4.804	.000
	cw 身長	.272	.071	.626	3.847	.001
	cx 体重	-.198	.076	-.427	-2.598	.015
11	(定数)	-33.233	10.185		-3.263	.003
	bk 恋性経験	.528	.540	.131	.978	.336
	ca 情ためな	1.017	.225	.635	4.525	.000
	cw 身長	.253	.070	.582	3.590	.001
	cx 体重	-.200	.078	-.429	-2.573	.015
12	(定数)	-30.067	9.650		-3.116	.004
	ca 情ためな	1.033	.224	.645	4.612	.000
	cw 身長	.245	.070	.564	3.504	.001
	cx 体重	-.201	.078	-.432	-2.591	.015

a 従属変数: cp 就成功

4. 議 論

【分析】

男性から、分析結果をみてみよう。表4「モデル集計」ならびに表5「係数」をみてほしい。なかの、「調整済みR²乗値」が最大の「モデル9」（表5）と、最後の「モデル10」（表5）に注目してほしい。

まず、モデル10で最終的に残った諸変数をみてみよう。

「筋肉」。設問の文言は「あなたは、「筋肉が鍛えられている」ほうですか。」であった（ベータ（標準偏回帰係数）=.226, 以下同様）。自己評価であるが、男性の場合は、やはり、たくましい体格が就職活動の成功に影響していることが強く示唆される（ただし有意水準は10%）。

「意欲人生」。設問の文言は「意欲的にこれからの人生送れそう」であるので、従属変数に関して時間的に先行しているとはかぎらない。就職活動に成功した「結果」、このような意識をもつようになった可能性もある。しかし、生活態度の意欲性が就活成否にプラスの影響を与えていることは蓋然的といえるだろう（.349）。

「コンプ数」。この設問の文言は「あなたは自分の外見にいくつコンプレックスを持っていますか？」であった。あくまで外見についてのコンプレックスの数であることに注意。これはどちらかというと、女性の容姿についての自己評価を念頭においた設問であった。しかし、男性

の就職活動の成否に対して、「負」の影響を与えていたのは興味深い (-.455)。男性においても、見た目は、少なくとも（就職活動の）結果にたいして影響をあたえている。これは、第一の「筋肉」とも通底しているだろう。

「SPI 一冊マスター」。設問の文言は「(四年生以上・短大・大学院二年生にのみうかがいます)。SPIの教材を「一冊以上マスター」しましたか。」であった (.314)。現代の就活で、SPIをはじめとする筆記試験対策がいかに重要であるかが実証されたとおもう。筆者の就活支援でも、SPI対策は重視している。しかし、多くの学生は、ひととおり勉強をおえることなく、本番に突入してしまう。筆者の経験からしても、まずは、「一冊でいいから」、あげておくことが分水嶺になる。この点の実証された。ただし、SPI対策がちゃんとできること自体、その学生の課題認識・志向の高さ・計画実行力の結果ともいえよう。今後の調査ではこの点に留意すべきだろう。

「同世代目」。設問の文言は「あなたは、「同世代の人たちの目が気になる」ほうですか。」であった (-.503)。符号が「負」であることに注意。この変数が最終モデル10に残りかつ、最大の標準化係数の絶対値をもっていたのは、非常に興味深い。現代の学生の就活支援をすこしでもやったことのある人なら、現代学生の付和雷同性、とくに同世代に準拠したその強さを実感しているだろう。就職活動という、自分の将来が関わることであっても（そうであるがゆえに?）、「同世代」の「みんな」の目を気にして、自分一人ですすんでゆくことができない。それゆえ、そうでない少数派の学生が、大人側から高く評価されやすい。この点が傍証されたとおもう。今後の就職活動支援でも、この現代若者の「同世代準拠の過度の強さ」にいかに対処するかが、大きなポイントとなるだろう。

以上が最終モデル10に残った変数群であった。調整済みR²乗値が最大であったモデル9も、みてみよう。

ここでは、上記の諸変数に加えて、「見合い・恋愛」の変数が選択されていた (-.187)。

この設問の文言は、「あなたのご両親は、「見合い結婚」でしたか、「恋愛結婚」でしたか?」であった。回答肢の値とベータ係数の符号より、「両親が（見合いでなく）恋愛結婚であった」男子学生ほど、就職活動に成功したのであった。5%有意をクリアしていないので、あくまで、今後の参考にとどめるべきであろう。しかし、とても、興味深い。他の変数に時間的に先行する変数であるし、重回帰であるので、疑似相関であるとは考えにくい。親が恋愛結婚であると、その息子は、社会力なりコミュニケーション力などをつけやすいのであろうか。あるいは、「愛のある家庭」でそだった息子ほど、〇〇力があるのであろうか...?。ここでは、断定的な解釈は差し控えたいが今後の研究において、無視できない変数だろう。

以上、モデル10と、モデル9をみてみた。いずれも、永野2004の調査・分析と比べて、格段に大きな、調整済みR²乗値を示している。

次に女性の結果について、みてみよう。同様に、表6「モデル集計」ならびに表7「係数」をみてほしい。そのなかの、「調整済みR²乗値」が最大の「モデル8」（表7）と、最後の「モデル12」（表7）に注目してほしい。

まず、モデル12で最終的に残った諸変数をみてみよう。

諸変数のなかで、5%有意水準で、残った変数は、このモデル12の「情ためな」「身長」「体重」の三つだけであった。変数ごとにみてみよう。

「情ためな」。設問の文言は「あなたは「情けは人の為ならず（人に親切にすれば、その相手のためになるだけでなく、やがてはよい報いとなって自分にもどってくる）」ということわざを信じる方ですか？」であった（.645）。日本の会社の多くが共同作業を重視するとはよく聞くところである。就職（採用）においても、関連する視点で、チームプレースピリットのある人材が優先的に採用されたのかもしれない。しかし、前記と比較すればわかるとおり、男性においては、この変数はあまり就活の成功に影響していなかったのたいして、女性においては、最大の標準偏回帰係数を示している。日本に会社における「男子学生に求めるもの」と「女子学生に求めるもの」のちがいを示唆しているだろう。

「身長」「体重」。それぞれ、設問は、「あなたの身長をおしえてください。」「あなたの体重をおしえてください。」で、単純にcm単位・kg単位で、数値を記入してもらった。身長の標準偏回帰係数はプラスの「.564」で、かなり大きな影響度である。体重の標準偏回帰係数は、マイナスの「-.432」で、これもかなり大きな絶対値である。身長の影響がプラスで、体重の影響がマイナスであるから「すらっとした、スマートな」女性が就職活動に成功したといえる。最後の残った三つの変数のうち、二つまでが、体格を示す変数であったことは、女性の採用にかんしては、会社側がかなり外見を重視していることが実証されたといえるだろう。

つぎに、最大の調整済みR²乗値を示したモデル8を、みてみよう。モデル12になかった変数について標準偏回帰係数（ベータ）の大きな順にみる。

「恋性経験」（ただし、10%水準でも有意ではない）。設問の文言は、「あなたは恋愛経験ならびに性交渉の経験はありますか？」であった（.261）。就活成否への独立変数としての恋愛経験変数の解釈はむずかしい。異なった立場（ここでは「異」性）へのコミュニケーション力・いわゆる社会力・やりとりの経験の多寡としても解釈できるし、容姿の多寡としても解釈できるからだ。ただし、今回の調査では、幸いにも、容姿についても直裁に聞いているので、解釈しやすい。ここでみているモデル8では落ちているが、モデル7までは、変数「美人」が残っている。「美人」設問の文言は、「あなたは、どちらかというところご自分のことを、美男・美女だとおもいますか。」であった。モデル7では、「美人」変数も残っているため、ここでは、「恋性経験→就活成否」の影響に関して、容姿の要因は制御されているとかんがえることのできる。ここでも、「恋性経験」の標準偏回帰係数はほぼおなじ「.270」であった。したがって、異なった立場（ここでは「異」性）とのやりとりの経験の度合として恋性経験を解釈することができ

るだろう。

「意欲人生」(ただし、10%水準でも有意ではない)。これについては、男性における同変数と同様に解釈できるだろう (.244)。注目すべきはむしろ、これだけ多くの変数を「減少法」の重回帰分析にインプットしてみて、「男女」で共通してある程度の影響力をもっていたのが、この変数だけであった、ということだろう(変数「同世代目」も共通だが、下に見るように、符号が「逆」である!)。いかに、現代において(も)、就職活動が、女子学生と男子学生にとって、「ちがったゲーム」であるかをみてとることができるだろう。

「引っ込み」(ただし、10%水準でも有意ではない)。設問の文言は、「あなたは、「引っ込み思案」なほうだとも思いますか」(.232)。この変数は解釈に苦しむ。引っ込み思案だと自認している人ほど、就職活動に成功している。いわゆる「やまとなでしこ」的な女性が、会社にうけがよかったのだろうか。

「同世代目」(ただし、10%水準でも有意ではない)。これは、男性においても、見られた変数であるが、男性とは「逆転」して、「正」の符号であることに注意(.160)。男性とは「逆」に、同世代の目が気になる人が就職活動に成功しているのである。いわゆる「気配り」のできるような女性が会社から評価されているのかもしれない。

以上、モデル12と、モデル8を中心にみてみた。いずれも、永野2004の調査・分析と比べて、大きな、調整済みR²乗値を示している。

【まとめ】

以上のわれわれの調査ならびにそれに対する議論から得られた発見をまとめてみよう。いずれも、いままでの研究・文献では、実証的に確認されていなかった知見である。

1. 男性においては、「同世代準拠性の小ささ」「外見的コンプレックスの少なさ」「意欲性」「SPI教材マスターの有無」「筋肉」が、就職活動の成功に影響を与えている。

「筋肉」「SPI教材」については、いままでの、就活指南本で指摘されていたが、実証はされていなかった。「同世代準拠性の小ささ」については、はじめてみいだされた要因と思われる。また、有意ではなかったが、「親が見合い結婚であるか、恋愛結婚であるか」も影響を与えていた。

2. 女性においては、「身長の高さ」「情け」「体重の軽さ」が、就活成否に影響を与えている。また、有意ではなかったが、「恋性経験の有無」「意欲性」「引っ込み思案」「同世代準拠の大きさ」が影響をあたえていた。

3. これらの変数の多くは、これまで実証的には確認されてこなかった。これらの変数を独立

変数とすることで、はじめて、とくに男性において、比較的大きな説明力 (R^2 乗値=.644, 調整済み R^2 乗値=.561)を、うることができた。

【今後の課題】

本研究はいうまでもなく、小規模なあくまで、端緒的なものにすぎない。しかし、上記のような知見を得られたことは大きな収穫であった。とくに、就職活動指南本の片隅に、ほそぼそと「ホンネ」のように書かれていることのあるものらが、実証的に支持しうる知見であることを示せたと思う。しかし、いうまでもなく、本研究は未だ問題が多い。個々の問題を意識し、克服していくことが今後の課題である。いくつか挙げておきたい。

第一に、サンプル数、調査地点・時点の拡大である。今回の調査は、一大学における一回の調査、しかも、とくに大学四年生に限定しなかった調査であるがゆえに、就職活動に関して分析できるサンプルはあまり多くなかった(男性38名、女性50名)。今後は、もっと大きなサンプルで、一地方に限定しない調査を行いたい。またできるかぎり経時的にもつづけていきたい。

第二は、説明力についての課題である。本調査・分析は、社会科学の調査としては、比較的大きな説明力を得ることができた。とくに、実証的な先行研究である永野2004と比べると格段に大きな R^2 乗値を得ることができた。しかし、まだ、向上の余地があるかもしれない。とくに、女性の分析についての R^2 乗値は未だ不満である。未だ計測されていない有力な変数があるのかもしれない。それを探っていきたい。それに関しては、本調査のような探索的な手法が適しているだろう。本調査は、学生たちとのオムニバス調査であったがゆえに、必ずしも筆者が提案したものではない設問も多くふくまれていた。その「あてにしていなかった」設問が、大きな説明力をもつこともあった(「親の結婚」「引っ込み思案」など)。今後も、同様な手法で、未だ意識されていない変数を「ほりおこして」いきたい。

第三は、逆に、探索的段階からの脱却の課題である。オムニバス調査の常として、説明力はあるが、解釈に困る変数も生じる。今後は、心理学における調査のように一つの構成概念(変数)を複数の設問の値でもって計測する方途も採りたい。それと関連して、潜在変数を推定する共分散構造分析の手法も有望だろう。

第四は、パネル調査(追跡調査)の実施である。就職活動が「終わった後」に調査をしても、そこで得られる「独立変数」は果たして独立変数に値するかの疑義は払拭できない。たとえば、本稿での「意欲性」にしても、「就職が決まったから、人生に意欲的になった」のかもしれない。就職活動が始まるまえに第一次の調査をし独立変数を計測し、就職活動が終わったあとに同じ被調査者に第二次調査をして従属変数を計測すれば、この疑義を払拭することができる。また、このプランならば「就職活動自体が、学生本人にどのような影響をあたえたか」も探求できる。ぜひ、試みたい。

第五は、得られた知見の学生支援への応用である。筆者の「就活の社会学」プログラムは、長年の参与観察にもとづいた、いわば、就活実践に「埋め込まれた(situated)」営為である。(大学教員の死活問題として、しようがなくやっているところもおおきいが)。したがって、本研究ならびに今後のその精緻化によって得られた知見を直裁に就活支援に活かしていきたい。

これにかんして一言付言したい。学生たちを就活支援していると、「おじさんの直観からすると当然」であるようなアドバイスをしても、世代ギャップのせいで、「学生からは当然として受容されない」ことが多い。とくに、外見や、体力・体格などに関して。それについて、本稿のような計量的な実証研究は、アドバイスに大きな説得力をあたえるだろう。近年（にかぎらないかもしれないが）の学生は、大人のいうことを「大人がいうことだから」という理由だけではなかなか聞かない。玄田有史が、ひきこもりがちな若者に、「もうちょっといいかげんでもいいんじゃない」と言ったら、「いいかげんになったほうがいいのかというのは、データで証明されているんですか?」と問い返されたそうである（玄田・宮崎2006:64）。このような若者に「データで証明して」みせることができる。

参考文献

- 玄田有史; 宮崎哲弥 2006 「希望は人を幸せにするか「希望学」で掴む格差社会の正体」『中央公論』121(2) (通号 1461)
- 岩内亮一, 荻谷剛彦, 平沢和司編 1998 広島大学大学教育研究センター『就職協定廃止直後の大卒労働市場』
荻谷剛彦編 1995 広島大学大学教育研究センター『大学から職業へ: 大学生の就職活動と格差形成に関する調査研究』
- 河合 薫; 山崎喜比古 2005 「大学の就職準備教育と社内サポート体制が新卒社会人のメンタルヘルスとその関連要因に与える影響について: 入社後半年間の追跡研究から」『産業衛生学雑誌』47 (臨時増刊号)
- 香山リカ 2004 講談社『就職がこわい』
- キャリアデザインプロジェクト 2004 PHP 研究所『内定勝者 2006「私たちはこう言った! こう書いた!」合格事例集&セオリー エントリーシート, 履歴書, 面接, 志望動機, 自己PR』
- 毎日コミュニケーションズ 2006 毎日コミュニケーションズ『2006年度 就職戦線総括』
- 松下佐知子 1995 サンドケイ出版局『女子大生, 就職の常識はウソばかり, 面接官の本音を知る本』
- 永野 仁 編著 2004 中央経済社『大学生の就職と採用: 学生 1,143名, 企業 658社, 若手社員 211名, 244大学の实証分析』
- 桜井芳生 2004 「「就活」の社会学へむけてー「就活ゼミ」という参与観察からみえてきたこと/「ポスト入試社会」における「新しい通過儀礼」ー」『鹿児島大学法文学部紀要 人文学科論集』60 鹿児島大学法文学部
- 桜井芳生 2005 光文社『へこみそうなあなたのための就活ぶっちゃけ成功ゼミ』
- 就職総合研究所 2000 ゴマブックス『内定者完全インタビュー〈2001年度版〉』
- 清水佑三 2003 東洋経済新報社『逆面接 ーたった10分で人を見抜く法ー』
- 杉村太郎 1998 マガジンハウス『就職勝利学』
- 多田 治 1998 「ポスト・バブル期の<自分らしさ>と社会参入ー大学生・短大生305人への『就職活動に関するアンケート』結果報告ー」『ソシオロジカル・ペーパーズ』7
- 確井慎一 2000 洋泉社『本物のSPI完全攻略本』
- 安田 雪 1999 中央公論新社『大学生の就職活動: 学生と企業の出会い』

【各変数の設問文言（本文で触れなかったもの）】

「挑戦安全」。あなたは、「物事に挑戦するほう」ですか, 「安全策をとる」ほうですか。x
「自信」。あなたは、「自分は十分な自信をもっている」と感じますか。ac

【註1】

本稿のように重回帰分析をおこなうアプローチにとって、多重共線性の問題は、頭のいたい問題である。多重共線性の確認はおこなったが、それによる変数の削除まではできなかった。ちなみに、「議論」の部分で言及しているモデルにおいて、「条件指標」が「共線性が問題」となる「30より大きな場合」は、以下のモデル・変

数であった。

男性

モデル10：なし

モデル9：「意欲人生」（条件指標，36.108）

女性

モデル12：「身長」（条件指標，32.152），「体重」（条件指標，117.185）

モデル8：「体重」（条件指標，53.817），「意欲人生」（条件指標，179.888）

とくに，体重が身長と相関してしまうのは，いかんともしがたい。この点，今後の課題としたい。

【謝辞】

アンケートにご回答くださったみなさんに感謝します。調査をともにおこなったみなさんに感謝します。

さくらいよしお

sakurai.yoshio@nifty.com

<http://homepage3.nifty.com/sakuraiyoshio/>